



共有回線用の C 割込およびプライバシーの設定

このモジュールでは、Cisco VG2nn アナログ ゲートウェイ上の同じ Foreign Exchange Station (FXS) ポートに接続された IP Phone とアナログ電話機を対象とする、C 割込および Privacy Skinny Client Control Protocol (SCCP) Telephony Control (STC) Application (STCAPP) 補足サービス機能について説明します。C 割込機能ではアイドル状態の電話機でオフフックにするだけで、同じ共有回線上の既存のアクティブ コールに自動的に参加でき、プライバシー機能では共有回線上のアクティブ コールへの他のユーザによる C 割込を無効にできます。これらの機能は Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) ではサポートされません。

このモジュール内の機能情報の検索

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースが、このモジュールで説明している機能の一部をサポートしていない場合があります。このモジュール内に記載されている特定の機能のリンクにアクセスする場合、および各機能がサポートされているリリースのリストを参照する場合は、「共有回線用の C 割込およびプライバシーの機能情報」(P.176) を参照してください。

プラットフォーム、および Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索するには

プラットフォームのサポートと、Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

目次

- 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの前提条件」 (P.168)
- 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの制限事項」 (P.168)
- 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの利点」 (P.168)
- 「共有回線用の C 割込およびプライバシーについて」 (P.168)
- 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの設定方法」 (P.170)
- 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの設定例」 (P.172)
- 「参考資料」 (P.174)
- 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの機能情報」 (P.176)

共有回線用の C 割込およびプライバシーの前提条件

共有回線用の C 割込およびプライバシーには、次のソフトウェア コンポーネントが必要です。

- Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified CM) 7.0 以降

共有回線用の C 割込には、次のハードウェア コンポーネントが必要です。

- Cisco Unified CM でハードウェア会議のデジタル シグナル プロセッサとのメディアの混在を実行できるように、ハードウェア会議 (DSPfarm) リソースが登録されていること。

共有回線用の C 割込およびプライバシーの制限事項

- この機能は Cisco Unified CME ではサポートされません。

共有回線用の C 割込およびプライバシーの利点

C 割込機能により、現行の時分割多重 PBX にパリティが提供されます。

共有回線用の C 割込およびプライバシーについて

Cisco 音声ゲートウェイの FXS ポートに接続されたアナログ電話機で SCCP 補足機能をイネーブルにするには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「機能の概要」 (P.169)
- 「共有回線用の C 割込およびプライバシー」 (P.169)

機能の概要

表 22 に、Cisco 音声ゲートウェイでの SCCP ベースの共有回線用の C 割込およびプライバシーについての情報を示します。

表 22 共有回線用の C 割込およびプライバシー

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
共有回線用の C 割込 Cisco VG2nn アナログゲートウェイの同じ FXS ポートに接続されたアイドル IP Phone またはアナログ電話をオフフックにするだけで、同じ共有回線ですでにアクティブになっているコールに自動的に参加できます。	共有回線に既存のカンバセーションが存在している場合、ユーザはオフフックになり、カンバセーションへの C 割込が実行されます。 (注) 1 台のアナログ電話機のみでアクティブ コールへの C 割込を実行できます。すでに 1 台の電話機が既存のカンバセーションへの C 割込を許可されている場合、その他の共有回線アナログ電話機では C 割込を実行できません。	Cisco コール制御システムでの設定作業は不要です。
共有回線用のプライバシー 他のユーザによる Cisco VG2nn アナログゲートウェイ用の同じ FXS ポートのアクティブ コールへの C 割込を無効にします。	Cisco Unified CM で共有回線のポートを設定すると、プライバシー機能によって共有回線のその他の電話機のアクティブ コールへの割り込みを防止できます。	Cisco コール制御システムでの設定作業は不要です。

共有回線用の C 割込およびプライバシー

C 割込機能では、共有回線上または同じポートに接続されているアイドル状態の IP Phone またはアナログ電話機が、オフフックにするだけで、同じ共有回線上の既存のアクティブ コールに自動的に参加できます。Cisco Unified CM を介して、3 者が電話会議を実行できます。



(注) 1 台のアナログ電話機のみでアクティブ コールへの C 割込を実行できます。すでに 1 台の電話機が既存のカンバセーションへの C 割込を許可されている場合、その他の共有回線アナログ電話機では C 割込を実行できません。

アナログスイッチングシステムでは、電話機がアクティブカンバセーションに参加中である場合などに 1 つのアナログポートを複数のアナログ電話機に接続でき、同じポートに接続されているその他の電話機をオフフックにして、カンバセーションに参加することができます。

デジタル IP スwitching (または PBX) システムでも同様の機能がサポートされ、共有回線と呼ばれます。同じ電話番号を使用するすべての電話機が、共有回線の電話機と呼ばれます。共有回線に既存が存在している場合、オフフックにすると、別の共有回線電話でのカンバセーションへの C 割込がインーブルになります。



(注) C 割込が設定されている場合、共有回線上のアイドル状態の電話機をオフフックにすると、アイドル状態の電話ユーザがコールに参加したいかどうかに関係なく、既存のカンバセーションに参加できるため、プライバシーが問題となる可能性があります。

プライバシーは、共有回線の他の電話機によるカンバセーションへの C 割込をブロックする機能です。Cisco Unified CM で共有回線のポートを設定すると、プライバシー機能によって共有回線のその他の電話機のアクティブ コールへの割り込みを防止できます。

共有回線用の C 割込およびプライバシーの設定方法



(注)

本書では、Cisco Unified CM の詳しい設定方法は説明しません。インストールおよび設定手順については、該当する製品のマニュアルを参照してください。

ここでは、共有回線に C 割込およびプライバシーを設定するための次のタスクについて説明します。

- 「共有回線用の C 割込の設定」(P.170)
- 「共有回線用のプライバシーの設定」(P.171)

共有回線用の C 割込の設定

Cisco Unified CM でアナログ エンドポイントに対して C 割込をイネーブルにするには、Cisco VG2nn アナログ ゲートウェイで次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **stcapp supplementary-services**
4. **port *port-number***
5. **hold-resume**
6. **ccharge**
7. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<code>stcapp supplementary-services</code> 例： Router(config)# stcapp supplementary-services	補足サービス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<code>port port-number</code> 例： Router(config-stcapp-supp)# port 2/0	STCAPP 補足サービス機能がサポートされるアナログ FXS 音声ポートを指定します。 • <i>port-number</i> : 音声ポート番号。範囲は 2/0 ~ 2/23 です。
ステップ 5	<code>hold-resume</code> 例： Router(config-stcapp-supp-port)# hold-resume	C 割込機能による 2 者通話がサポートされます。
ステップ 6	<code>ccharge</code> 例： Router(config-stcapp-supp-port)# ccharge	アイドル状態の電話機による共有回線上のアクティブ コールへの参加をイネーブルにします。 (注) C 割込がサポートされる場合、保留/保留解除を設定する必要があります。
ステップ 7	<code>end</code> 例： Router(config-stcapp-supp-port)# end	STC アプリケーション補足サービス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

共有回線用のプライバシーの設定

Cisco Unified CM でアナログ エンドポイントに対してプライバシーをイネーブルにするには、Cisco VG2nn アナログ ゲートウェイで次の手順を実行します。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `stcapp supplementary-services`
4. `port port-number`
5. `privacy {on | off}`
6. `end`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code> 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none">プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code> 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<code>stcapp supplementary-services</code> 例： Router(config)# stcapp supplementary-services	補足サービス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<code>port port-number</code> 例： Router(config-stcapp-supp)# port 2/0	STC アプリケーション補足サービス機能がサポートされるアナログ FXS 音声ポートを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><code>port-number</code> : 音声ポート番号。範囲は 2/0 ~ 2/23 です。
ステップ 5	<code>privacy {on off}</code> 例： Router(config-stcapp-supp-port)# privacy on	共有回線上の他のポートの、アクティブ コールへの C 割込を防止します。 <ul style="list-style-type: none"><code>on</code> : このポートでプライバシーがオンになります。<code>off</code> : このポートでプライバシーがオフになります。
ステップ 6	<code>end</code> 例： Router(config-stcapp-supp-port)# end	STC アプリケーション補足サービス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

共有回線用の C 割込およびプライバシーの設定例

ここでは、次の設定例について説明します。

- 「例：共有回線用の C 割込の設定」 (P.172)
- 「例：共有回線用のプライバシーの設定」 (P.173)
- 「例：Cisco VG204 での共有回線用のプライバシー」 (P.173)

例：共有回線用の C 割込の設定

次は、Cisco VG224 のポート 2/4 に接続されたアナログ電話機用の C 割込 STCAPP 補足サービス機能をイネーブルにする方法を示す、`show run` コマンドのサンプル出力です。同様のサンプル出力を `show stcapp device voice-port x/x` (または `x/x/x`) コマンドを使用して表示することもできます。

```
Router(config)# show run
.
.
.
stcapp supplementary-services
```

```
port 2/4
  hold-resume
  charge
  fallback-dn 5005
end
```

例：共有回線用のプライバシーの設定

次は、Cisco VG224 のポート 2/4 に接続されたアナログ電話機のプライバシー STCAPP 補足サービス機能をイネーブルにする方法を示す、**show run** コマンドのサンプル出力です。同様のサンプル出力を **show stcapp device voice-port x/x** (または **x/x/x**) コマンドを使用して表示することもできます。

```
Router(config)# show run
.
.
.
stcapp supplementary-services
  port 2/4
  privacy on
end
```

例：Cisco VG204 での共有回線用のプライバシー

次は、Cisco VG204 ののポート 0/2 でディセーブルになっているプライバシー STCAPP 補足サービス機能を示す、**show stcapp device** コマンドのサンプル出力です。

```
Router(config)# show stcapp device voice-port 0/2

Port Identifier: 0/2
Device Type:    ALG
Device Id:      3
Device Name:    AN1FCAC3B790002
Device Security Mode : None
Modem Capability: None
Device State:   IS
Diagnostic:     None
Directory Number: 9886087491
Dial Peer(s):  87488
Dialtone after remote onhook feature: activated
Busytone after remote onhook feature: not activated
Last Event:     STCAPP_DC_EV_DEVICE_FEATURE_STATUS
Line State:     IDLE
Line Mode:      CALL_BASIC
Hook State:     ONHOOK
mwi:            DISABLE
vmwi:          OFF
mwi config:    Both
Privacy:        OFF
PLAR:          DISABLE
Callback State: IDLE
CWT Repetition Interval: 3 second(s)
Number of CCBs: 0
Global call info:
  Total CCB count      = 1
  Total call leg count = 1
```

参考資料

ここでは、Cisco 音声ゲートウェイの FXS ポート用の SCCP アナログ電話機サポートに関連する資料を示します。

関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified Communications Manager	『 Cisco Unified Communications Manager 』
Cisco Unified Communications Manager Express	『 Cisco Unified Communications Manager Express 』
Cisco IOS のデバッグ	『 Cisco IOS Debug Command Reference 』
Cisco IOS の音声コマンド	『 Cisco IOS Voice Command Reference 』
Cisco IOS の音声設定	『 Cisco IOS Voice Configuration Library 』
Cisco 音声ゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco VG200 Series Gateway』 • 『Cisco 1800 Series Integrated Services Routers』 • 『Cisco 2800 Series Integrated Services Routers』 • 『Cisco 3800 Series Integrated services Routers』 • 『Cisco Unified 500 Series』
会議およびコード変換リソース	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco Unified CallManager and Cisco IOS Interoperability Guide』の「Configuring Enhanced Conferencing and Transcoding for Voice Gateway Routers」の章 • 『Cisco CallManager and IOS Gateway DSP Farm Configuration Example』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none">・テクニカル サポートを受ける・ソフトウェアをダウンロードする・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける・ツールおよびリソースへアクセスする<ul style="list-style-type: none">- Product Alert の受信登録- Field Notice の受信登録- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する・トレーニング リソースへアクセスする・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</p>

共有回線用の C 割込およびプライバシーの機能情報

表 23 に、このモジュールで説明した機能をリストし、特定の設定情報へのリンクを示します。この表には、Cisco IOS Release 15.1(3)T 以降のリリースで導入または変更された機能だけを示します。

このテクノロジーの機能でここに記載されていない情報については、「[補足サービスの機能ロードマップ](#)」(P.13) を参照してください。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースでは、一部のコマンドが使用できない場合があります。特定のコマンドのリリース情報については、コマンド リファレンス マニュアルを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、特定のソフトウェア リリース、機能セット、またはプラットフォームをサポートする Cisco IOS と Catalyst OS のソフトウェア イメージを判別できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 23 に、特定の Cisco IOS ソフトウェア リリース群で特定の機能をサポートする Cisco IOS ソフトウェア リリースだけを示します。特に明記されていない限り、Cisco IOS ソフトウェア リリース群の後続のリリースでもこの機能をサポートします。

表 23 共有回線用の C 割込およびプライバシーの機能情報

機能名	リリース	機能情報
共有回線用の C 割込	15.1(3)T	<p>Cisco VG2nn アナログゲートウェイの同じ FXS ポートに接続されたアイドル IP Phone またはアナログ電話をオフフックにするだけで、同じ共有回線ですでにアクティブになっているコールに自動的に参加できます。この機能は Cisco Unified CM のみでサポートされます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「共有回線用の C 割込およびプライバシーについて」(P.168) 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの設定方法」(P.170) <p>次のコマンドが導入または変更されました。 ccharge</p>
共有回線電話機のプライバシー	15.1(3)T	<p>他のユーザによる Cisco VG2nn アナログゲートウェイ用の同じ FXS ポートのアクティブコールへの C 割込を無効にします。この機能は Cisco Unified CM のみでサポートされます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「共有回線用の C 割込およびプライバシーについて」(P.168) 「共有回線用の C 割込およびプライバシーの設定方法」(P.170) <p>次のコマンドが導入または変更されました。 privacy (補足サービス)</p>